

御坂と三ツカと三ツカは三ツカ。



成年向

For ADULTS

どうもです、アル・ラ・ウネです。
今回は、以前「御坂姉妹本。(仮)」というタイトルで出した本を、
加筆修正して色塗って作り直したものです。
(仮)を取って「御坂姉妹本」という誌名でもよかったんですが、
せっかくなので、ちょっと変えてみました。
御坂やミサカがどのミサカなのかは、なんとなく伝わるんじゃないかと、
ミサカはミサカは信じてみたり。

んまあ、いつも通りのえろえろ本です。
じっくりとお楽しみいただければ幸いです。

な 何よコレ！
大きくなりすぎ
じゃないの…？

どう見ても
勃起しすぎですね

じい~~~~~



とミサカは呆れた
ような冷たい目で
ペニスを凝視します

あのく… あんまり
見つめないで
いただけませんか？



ゼン
ゼン

ていうか、なんで
私たち、ち○ぽ
見つめてんの…！？

どういう状況…！？

それは俺も
知りたい



ゼン
ゼン



こんな節操のない
ペニスはおしおき
ですね

と ミサカは無造作に
手に取り 手首を
上下させます

ちょ

ちょっと！

そんなの触ったら
噛まれるわよ…！

問題ありません
このペニスを触るのは
二度目
ですから

と ミサカはお姉様に
さり気なく優位性を
アピールします

俺の股間には
何が付いてるん
ですか!?

へ…?

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん
ちゅんちゅん



そんなわけでお姉様
お先に頂きます

と ミサカは念のため
断りを入れてから
フェエラに移行します

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

え
ちゅんちゅん



あっ あーっ！

は むっ

あー…



どどどという
ことよそれ！

二回
言った

二回言いまし
たね ふんふん

ううんきいっ！

と ミサカは不敵に
笑い 指摘します



んむ...っ
んっ

んっ
んっ

す...
す...

す...

もう ヒクヒク
痙攣してますね

とミサカは
ペニスの様子を
つぶさに観察します

もしかして もう
射精しそうですか？

とミサカは龜頭を
ねぶりながら
上目遣いで
問いかけます

いいですよ
射精しても

とミサカは
あなたの瞳から
視線をそらす

激しく ペニスを
責め立てます

うおお...っ

これはヤバイ
.....っ!

ぬ
1310
ぬ
1310

ぬ
1310



ひん ぐん
といつつミサカは
うっとりと
鈴口から飛び出る
精液の様子を
見つめます

ひん ぐん
早くも
射精しやがり
ましたね
あ…

くろくろ



さゆ
この硬さなら すぐに
続きをやれそうですね
と ミサカは両手で
ペニスの硬度を確認します
おおい
御坂妹…
続き!?
さゆ

続きって
何よ…!!



相変わらず素敵な
味と匂いですね
と ミサカは
ペニスに伝う精液を
丹念に舐めとります



では早々に挿入
しましょう
と ミサカは
ナチュラルにペニスを
自分の股間へと誘います
露骨!
かなりの露骨!



ネトトリ…♡
そそう
なの…?

ずんずん
うん

ミサカはとっくに濡れ濡れなので

いきなり動いても大丈夫です

とミサカは挿入の快感に耐えながら果敢に腰を動かします

おおいっ

そんなに動くと...っ!

ぬっ

ぬっ

ちゅっ

ちゅっ

ホントに挿入れちゃってるの...!?

ちよっとお...

結合部をお姉さまに見つめられると興奮します

なんだかすこく興奮します

とミサカは自身の隠れた性癖に少し戸惑いつつも

さらに激しく腰を動かします

うおおっ
すげえ...!

ちゅっ

ぬっ

ぬっ

卑猥な形の亀頭が
ミサカの膣を

いやらしい音を
たてながら

何度も
出たり入ったり
していますよ

と ミサカは腰の動きに
ひねりを加えながら
一層 激しく 膣口で
亀頭をこすりませ

いん

いん

なんて
テクだ…っ
御坂妹の膣肉が
ち○ほに
絡みついてくる…!

いん

いん

いん

しかも 御坂妹の
ちっばい……すげえ
やわらけえ…!

ちっばいとは
失礼です

肉体年齢相應の
ほどよい大きさ
ですよ

と ミサカはあなたを
たしなめながら

ひくつくペニス
根本近くまで
挿入します

もみ

もみ

もみ

うおっ
もうダメだ…!

で……
射精る…!

いん



ぐっほっ

私 初めてなのっ
なんで…っ♡

あんっ♡

初めてなのっ

なんでっ!? なんで
アタのち○ぽっ

ぐっほっ

ぐっほっ

ぐっほっ

ぐっほっ

こんなに気持ち
いいのあっ♡

は♡

は♡

は♡

ん♡

精液……
いっほっ…♡

あふれちゃっ
てる…っ♡

ビクっ♡

ん♡

ビクっ♡

ぐっほっ



ぬちゅっ

ぬちゅっ

太くて 硬くて
すごいです♥

あなたの
おち〇ぼ

何度
射精しても

あ♥

はき♥

ん♥

あ♥

ぬちゅっ

ぬちゅっ

と ミサカは
素直に 称賛
します♥

ぬちゅっ

ビクッ

と ミサカは…っ

さまがに もう

精液 入りきり
ません…っ♥

あ♥

は♥

は♥

あ♥

ぬちゅっ

ぬちゅっ

何度もイカされて
呼吸がっ…♥

ん♥



お おほえて
なさいよ
アンタ…っ♡

私の処女を
奪った責任…っ
絶対 取って
もらうから…っ♡

ごっもごっも
満足です…♡

と ミサカは遠のく
意識にまごころみながら

あなたの腕に
腕を絡ませます…♡

ああ… 俺も
もう限界だ…っ!

ぐんぐん…
ぐんぐん…
ぐんぐん…

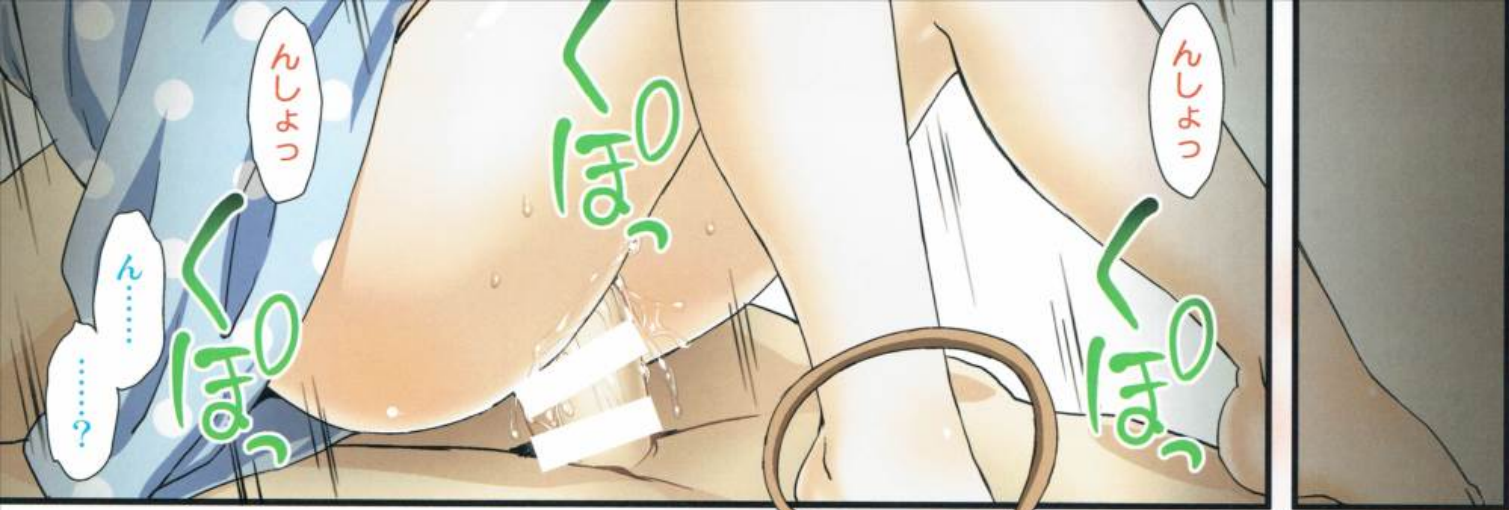


私も もう…

無理…♡

…いつか また
よろしくお願
いしますね…♡

と ミサカは暗に
この関係の継続を
希望します…♡



そんないちわる
言わないでっ♡

って ミサカはミサカは
カリの部分を出し入れ
しながら抗議してみるっ！

こころ
やめっっ！



……っ！
お お前……っ！

あ 起きた♡
って ミサカはミサカは
あなたの覚醒を喜んでみたり♡

お前にはツレが
いるはずだろ…!?



「のミサカ」

あなたへの切ない
気持ちが伝わって
くの…っ♡

あのミサカから

すー

わんわん♡

……っ!

わんわん♡

そんな動かれたらっ

で出る…っ!

はあ♡

はあ♡

わんわん♡

ミサカはミサカはっ
この切ない
想いをっ

わんわん♡

おおっ
うう…っ

小さな体躯からだで精一杯に
表してみたりっ♡

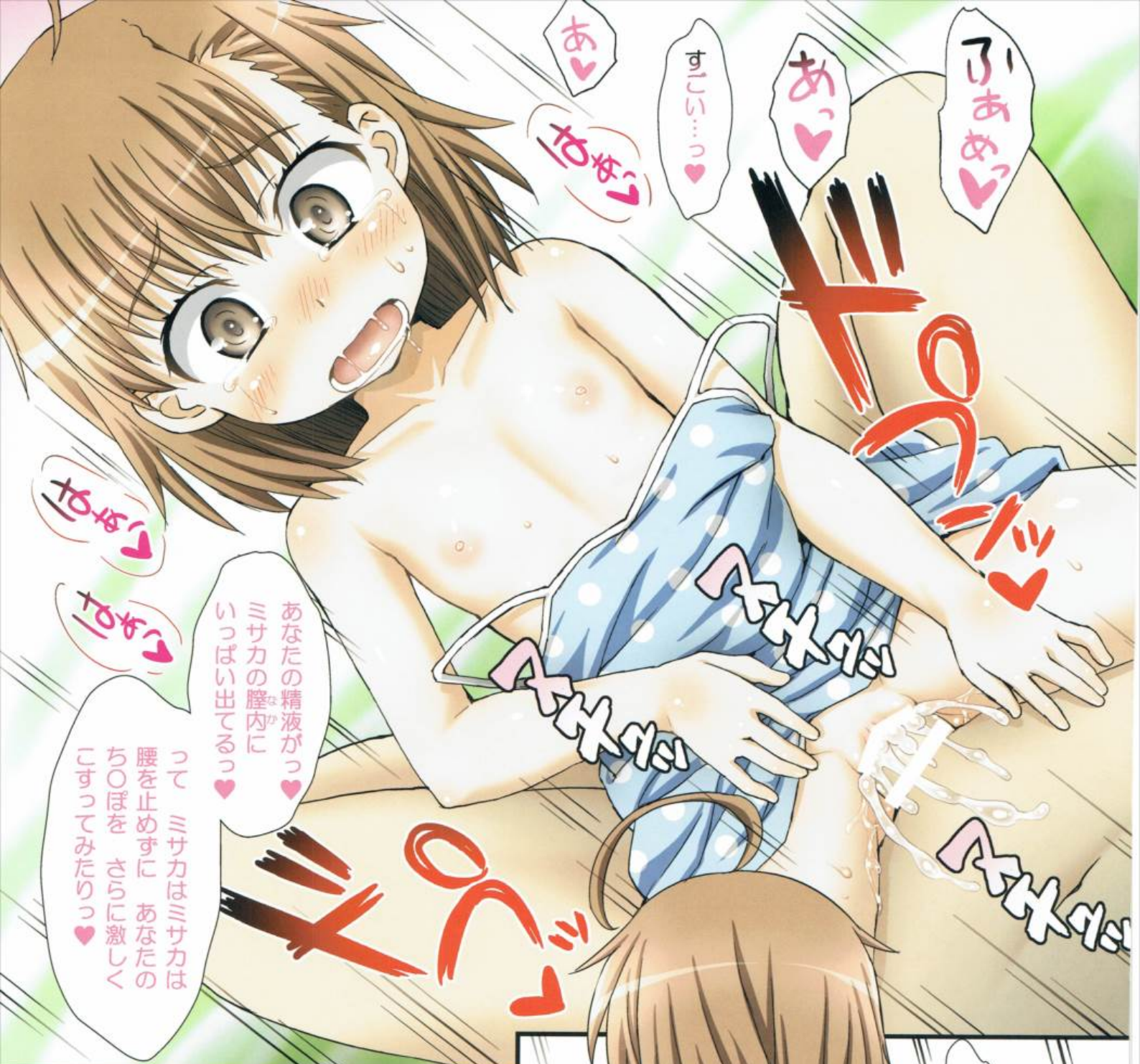
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ



あ♡

たじろ...♡

あ♡

ふあ♡

たじろ♡

たじろ♡

たじろ♡

あなたの精液が♡
ミサカの膣内に
いっぱい出てる♡

って ミサカはミサカは
腰を止めずに あなたの
ち○ぽを さらに激しく
こすってみたり♡



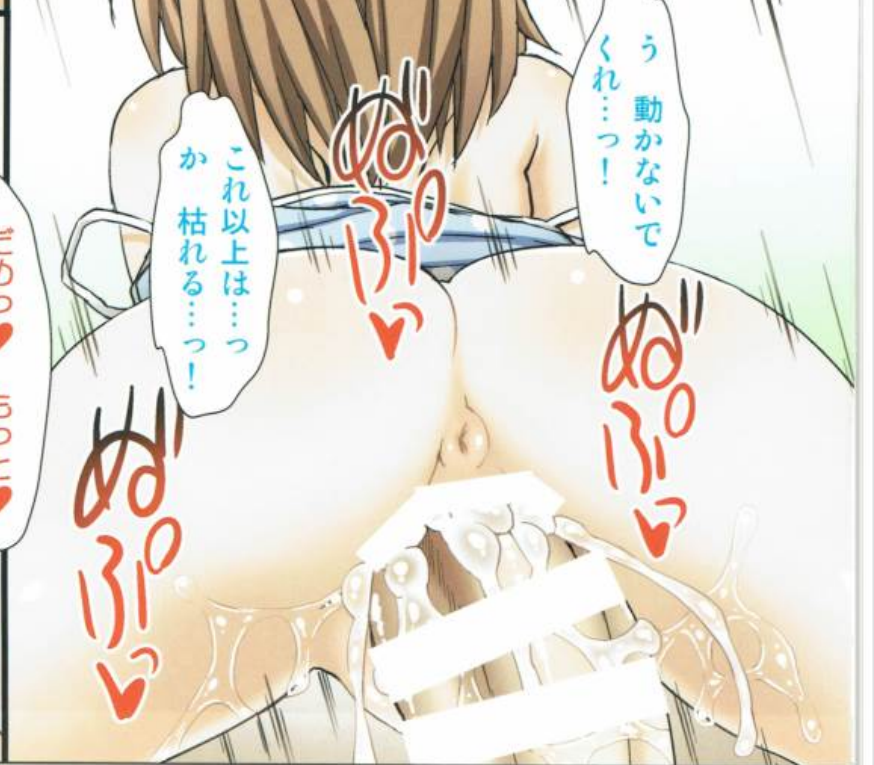
はあ♡

だめ♡ もっと♡

って
ミサカは
ミサカは

はあ♡

おち○ぽおねたり
してみる...♡



う動かないで
くれ...っ!

これ以上は...っ
か 枯れる...っ!

たじろ♡

たじろ♡

たじろ♡



気持ち良さそうに寝やがって……!

人のち○ぽを
もてあそ
び弄んで
おいて……

こゝろじつし

た

ぬとーっ



……不幸だ……

これがホントの打ち止めです。

御坂とサカとサカとサカ。

発行日 2013. 12. 31
 発行 ORANGE☆CHANNEL
 著者 アル・ラ・ウネ
 印刷所 サングルーフ様

URL <http://orange.kinugoshi.net/>
 mail une365@gmail.com



ORANGE★CHANNEL